

2022年度

Myプレミアムを語る会

開催日

第1回 2022年 12月 7日(水)

第2回 2023年 3月16日(木)

時間

17時00分～18時00分

場所

N301

「Myプレミアムを語る会」は、本学部の教員が自らの看護実践や研究について語り合い、互いに刺激を得る場として、2017年から開催している会です。毎年、定期的で開催し、今年度は本学部に博士後期課程が開設されたことを記念し、研究をテーマに先生方から講演頂きます。事前申し込みは不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

内容

第1回 テーマ『研究実践のために必要なこと』
演者 黒田るみ先生 / 井上水絵先生

第2回 テーマ『研究力を身につけるために実践してきたこと』
演者 後藤あや先生 / 山口咲奈枝先生

*当日の資料配布はありません。資料がある場合は、後日、メールで配信します。

【連絡先】

学内学術交流推進小委員会委員 林紋美(基礎看護学部門) E-mail: yami@fmu.ac.jp

2022年度第1回「My Premium を語る会」(学術委員会企画)が12月7日(水)に開催されました。今回は、『研究実践のために必要なこと』をテーマに、黒田るみ先生(基礎看護学部門)、井上水絵先生(成人・老年看護学部門)にご講演頂きました。昨年に引き続き今年もソーシャルディスタンスを守っての会で、大学院生1名を含めた教員30名の参加がありました。

井上先生からは、モチベーションを保ちながら研究に取り組んでいる体験談を中心に話いただきました。研究フィールドを開拓された地道な取り組みからは、研究を積み上げていくことの大変さと大切さを改めて実感いたしました。一方で、その大変さのなかにあって研究の醍醐味と面白さについて時折ユーモアを交えながら語られ、講演があっという間に終わったように感じられました。

黒田先生からは、研究実践力を身につけられてこられたプロセスやその研究結果がご自身の活動にどう結びついてきたのか、ナイチンゲールの功績も詳しく知ることができました。質的研究は、科学的なものとして結果を読み解いていくという過程を伺い、質的研究の奥深さを感じました。

今回の「My Premium を語る会」のお二人の先生のこれまでの研究の歩みと今後の研究への熱い思いを伺い、参加者も大いに刺激を受けたようです。また、悩みながらも自分の進むべき道を設定し、それに向けて一步一步歩みを進められていると実感し、参加者の背中を押して頂いた貴重な時間でした。講演後の質疑応答も活発にあり、参加者の研究実践に対する士気を向上させてくれた企画でした。